

## 支援プログラム



## (事業所における基本情報)

法人（事業所）理念	療育を必要とされる児童の特性に応じて、弊社でできる個別・集団での療育を全力で提供すること。 子どもたちの脳の発育を促していき、社会性の理解を深め、ご家族・保護者の方々が暮らしやすくなるためのお手伝いをさせていただくこと。		
支援方針	保護者様とお子様の特性を面談によって、綿密なアセスメントをおこない個々の特性やご性格に沿った個別支援計画書を作成いたします。児童指導員や専門職も地域と一体となり、ご利用者様に寄り合い、保護者様のニーズ、ご本人様のより良い成長のための療育を行います。		
営業時間	平日10:00～19:00 祝日・長期休暇10:00～18:00	送迎実施の有無	有

## (支援内容)

本人支援	健康・生活	日常生活の行動能力の向上、（衛生・礼儀・移動能力・身の自立・行動能力（気持ちの切り替えを含む））を促し、年齢相応の行動になるよう、個々の状態を日々確認しながら支援いたします。
	運動・感覚	感覚（触覚・前庭感覚（平衡）・固有受容覚（加減等）・視覚・聴覚）の感覚を学ぶ支援及びボール運動、サーキット運動などの粗大運動をおこない心身の向上に努めます。又、近隣の公園を使用し粗大運動や手足の可動域やバランス感覚の発達を促す支援を行います。
	認知・行動	認知機能向上は脳トレーニング（集中力・注意力・記憶力・推理力・分析力・処理能力・聴覚力・抑制力・創造力・眼球の力）や学習障害による書字・読字・算数学習の支援を含めたプログラムを行っています。又、感覚を受け入れる能力の向上を主体とした微細運動も行います。
	言語 コミュニケーション	個々のアセスメントやリアセスメント結果により言語の発達・構音障害や言語表出の不明瞭さを口腔・舌運動の支援を行います。言語理解については、語彙力の向上のためのプログラムを行い、より良い（場面に合った適切な言葉の発語及び選択）会話ができる支援を行います。
	人間関係 社会性	10人までの事業所の特性を生かし、小集団活動によって限定的な複数の児童と交渉（コミュニケーションがとれる）ができる支援をおこないます。個々の自閉症等による環境の適合性の強弱も考えた上で集団活動を行い、他児と共有した行動の楽しさを学んでいただきます。
家族支援	児童の療育に努めることを前提としていますが、お子様の特性や発達の遅れによる親御様の不安や今後の展望についても、日々の相談や情報共有に努め、少しでも親御様の心と身体の負担軽減に努めます。又、必要とあれば、カウンセリングや児童発達支援管理責任者による今後の療育の進捗状況についてのやり取りを定期的に行います。	
移行支援	個々の児童の発達状況を鑑み、幼児は就学前、就学児は（中等・高等）への移行、（高校生）は就労前の環境と関係機関との情報共有を行い情報提供に努めます。移行支援会議・カンファレンスへ積極的に参加します。	
地域支援 地域連携	地域との連携（社会福祉協議会・基幹センター・地域自治体）や地縁との関係性、近隣の住民との間で相互扶助などを通じた地域コミュニティとのつながりを持ち、地域の福祉事業所として役割に努めます。	
職員質の向上に資する取り組み	フランチャイズにある・定期的な療育の質の向上を目的としてweb研修や・福祉関連団体の研修会に職員が参加し、質の向上に努めます。	
主な行事等	外出レクリエーション（公共性の順守を学びながら見識を高める）、季節のイベント（例・工作・クリスマス・手作りケーキ作成）など手先を使い本児の達成感を養うとともに集団の協調性を学ぶ取り組みをします。	